

## 第2章 諸取引の記帳

### 第1節 現金・預金取引 (p.34)

#### 1 現金 (p.34)

簿記上の現金

①

-----

②

-----

③

-----

④

-----

⑤

-----

※通貨およびいつでも通貨に交換できるものは簿記では現金として扱う。

#### 例題1

1. (借) (貸)

-----

2. (借) (貸)

-----

3. (借) (貸)

-----

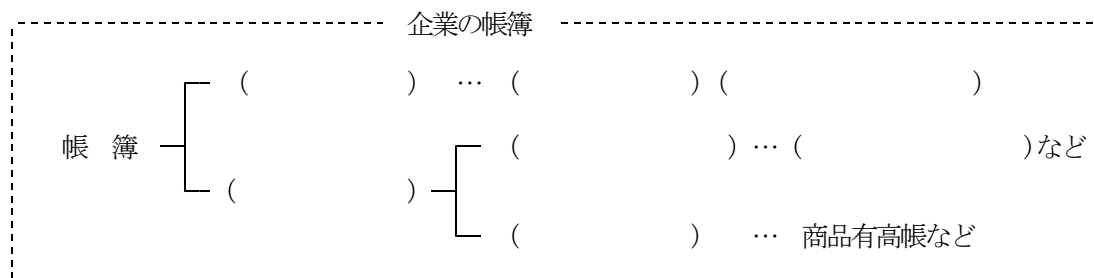
【NOTE】

## ■ 現金出納帳

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| ・現金の収入と支出は総勘定元帳の           | 勘定に記録するとともに、収入と支出の |
| 明細を明らかにするため                | に記入する。             |
| ・現金出納帳は現金勘定に対して補助的な帳簿であるから | という。               |

## ■ 主要簿と補助簿

- ・帳簿は大きく                      と                      に大別される。
- 
- ・主要簿は                      や                      のようにすべての取引が記録される  
帳簿である。
- 
- ・補助簿には
- 
- ① 特定の取引についての明細を                      に記録する                      と
- 
- ② 特定の勘定について                      などに記入する                      がある。



**【NOTE】**

### 例題 2

〔仕 訳〕

6/ 5 (借) (貸)

12 (借) (貸)

20 (借) (貸)

〔総勘定元帳〕

現金

This diagram shows a blank sheet of handwriting practice paper. It features a central vertical line that divides the page into two equal halves. There are four horizontal dashed lines spaced evenly across the page, creating five rows of equal height. The top row is bounded by a solid line at the very top and a dashed line below it. The subsequent three rows are each bounded by a dashed line at the top and another dashed line at the bottom. The bottom-most row is bounded by a dashed line at the top and a solid line at the very bottom. This layout is designed to help students learn letter formation and alignment.

〔補助簿〕

現金出納帳

[illegible]

## 2 現金過不足 (p.37)

- ・ 現金勘定や現金出納帳の帳簿残高と現金の実際有高が一致しないときは、  
が 合うように修正する。そのさい過不足額を一時的に  
勘定で処理する。

※現金の帳簿残高とは、現金勘定や現金出納帳の残高のことである。

- ・ 実際有高<帳簿残高（これを 勘定という）のときは、現金過不足勘定の  
に記入する。
- ・ 実際有高>帳簿残高（これを 勘定という）のときは、現金過不足勘定の  
に記入する。

### 仕 訳

- ・ 現金が不足のとき（実際有高<帳簿残高）

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

- ・ 現金が過剰のとき（帳簿残高<実際有高）

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

- ・ 過不足の原因が判明したとき、 から該当する勘定に振り替える。
- ・ 現金過不足勘定のように、一時的に記録するために設けた勘定を 勘定という。

※振り替えるとは？

ある勘定の金額を他の勘定へ書き移すことを振替<sup>ふりかえ</sup>という。詳しくはテキスト  
p.102「(2) 振替」で学習する。

例えば、現金過不足勘定の借方の¥100を通信費勘定に振り替える場合、通信費  
勘定の借方に¥100を記入するとともに、現金過不足勘定の借方から¥100を差し  
引くために同勘定の貸方に¥100を記入する。

例題 3

(借)

(貸)

例題 4

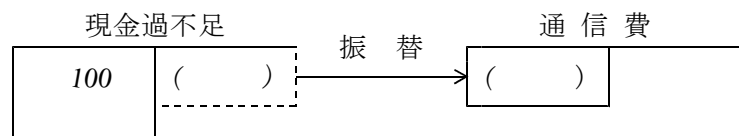
(借)

(貸)

例題 5

(借)

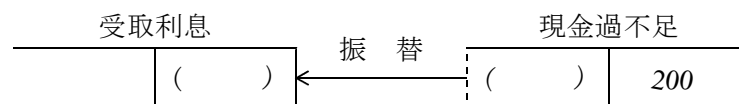
(貸)



例題 6

(借)

(貸)



【NOTE】

3 当座預金 (p.40)

- ・当座預金は、企業が日常の運転資金をひんばんに出し入れするのに利用する預金。
- 
- ・引出しには                      を用いる（振り出す）。
- 
- ・当座預金の増減は                      勘定（                      の勘定）で処理する。

## 仕 訳

- ・当座預金に現金等を預け入れた。／当座預金口座への振込みがあった。

(借)                      ××      (貸)      ○   ○   ○   ××

- ・小切手を振り出した。／当座預金口座からの引落しがあった。

(借)    ○    ○    ○    ××    (貸)    ××

### 例題 7

6/ 1 (借) (貸)

3 (借) (貸)

10 (借) (貸)

12 (借) (貸)

20 (借) (貸)

25 (借) (貸)

**【NOTE】**

## ■ 当座預金出納帳

- ・ の預入れや引出しの明細を記録するための帳簿である。

※当座預金勘定に対する補助簿(補助記入帳)である。

---

### 例題 8

〔総勘定元帳〕

当座預金


〔当座預金出納帳〕

当座預金出納帳

[illegible]

**4**    **その他の銀行預金** (p.42)

- ・ 会社が利用する銀行預金には、普通預金・当座預金の他に、などがある。
- 
- いずれも、預金名を付した勘定科目で記帳する。
- 

**例題 9**

( 1 )    (借) (貸)

-----

( 2 )    (借) (貸)

-----

**【NOTE】**



**5** 小口現金 (p.43)

- ・ 少額の支払いのために用意する現金を 勘定 ( 勘定 ) で処理する。
- ・ 小口現金の処理については、会計係が月初め (または週の初め) に一定額を支払担当者  
者に前渡しし、月末 (または週の終わり) に支払額の報告を受けると、 同額を補給する という方法がある。
- ・ 定額資金前渡法では、会計係は一定額を用度係に前渡ししたとき、前渡額を 勘定 (または当座預金勘定) から 勘定へ振り替え、用度係から支払  
明細の報告を受けたとき、 勘定から の勘定へ振り替える。

**仕 訳**

- ・ 小口現金を前渡しした (①)。

(借)	××	(貸)	現金など	××
-----	----	-----	------	----

- ・ 支払明細の報告を受けた (③)。

(借)	交 通 費	××	(貸)	××
	通 信 費	××		
	雑 費	××		

- ・ 小口現金を補給した (④)。

(借)	××	(貸)	現金など	××
-----	----	-----	------	----

※③と④の取引が同時に行われたときは、次のように仕訳をまとめてもよい。

(借)	交 通 費	××	(貸)	現金など	××
	通 信 費	××			
	雑 費	××			

### 例題 10

4/ 1 (借) (貸)

30 (借) (貸)

5/1 (借) (貸)

### 例題 1 1

① (借) (貸)

(借)
(貸)

または、

② (借) (貸)

**【NOTE】**

## ■ 小口現金出納帳

- ・ の受入や支払いの明細を記録するための帳簿を小口現金出納帳とい  
う。

例題 1 2

小口現金出納帳

[illegible]

※この問題は、週末に支払報告を行うとともに、資金の補給を受けるケースである。

### 例題 1 3

小口現金出納帳

[illegible]

※この問題は、週末に支払報告を行うとともに、翌週の初めに資金の補給を受けるケースである。

**【NOTE】**

## 第2節 商品売買取引 (p.47)

1 分記法と3分法 (p.47)

### 例題 1

〔仕訳〕

(1) (借)

(貸)

(2) (借) (貸)

〔轉記〕

商 品		商品販売益	

・商品売買の取引の記帳には と がある。

分記法 … 商品を販売したときに、売価を \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ に分  
けて記帳する方法

**3 分法** … 勘定 (                      の勘定)、                      勘定 (                      の勘定)、                      勘定 (                      の勘定) の 3 つに分けて記帳する方法

### 分記法と3分法（使用する勘定）

分記法	[	勘定 (	の勘定)
		勘定 (	の勘定)
3分法	[	勘定 (	の勘定)
		勘定 (	の勘定)
		勘定 (	の勘定)

## 2 3分法による記帳 (p.48)

### (1) 繰越商品勘定

- ・ 期末に売れ残っている商品 ( ) 棚卸高) を記入する勘定。

### (2) 仕入勘定

- ・ 商品を仕入れたとき、仕入勘定の ( ) に記入する。

- ・ ( ) (返品) は、仕入勘定の ( ) に記入する。

※「返品は仕入れた時の反対仕訳」と覚える。

- ・ 仕入れたときにかかる諸費用 ( ) という) は、 ( ) に加える。

#### 仕 訳

- ・ 商品を掛けて仕入れた。

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

- ・ 上記商品を返品した。

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

- ・ 商品を掛けて仕入れた。なお、仕入諸掛は現金で支払った。

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

購入代価 +
--------

××

#### 例題 2

4/3	(借)	(貸)
-----	-----	-----

4	(借)	(貸)
---	-----	-----

### (3) 売上勘定

- ・ 商品を売り上げたとき、売上勘定の ( ) に記入する。

- ・ ( ) (返品) は、売上勘定の ( ) に記入する。

※「返品は売り上げた時の反対仕訳」と覚える。

- ・ 販売するときにかかる諸費用は ( ) 勘定 ( ) の勘定) で処理する。

### 仕 訳

- ・商品を掛けで売り上げた。

(借)                      ××      (貸)                      ××

- ・上記商品が返品された。

(借)                      ××      (貸)                      ××

- ・商品を掛けで売り上げた。なお、発送費は現金で支払った。

(借)                      ××      (貸)                      ××  
    ××                                      ××

- ・商品を掛けで売り上げた。なお、先方負担の発送費は現金で支払った。

(借)                      ××      (貸)                      ××  
                                         ××

売上代金 +

### 例題 3

6/6      (借)    (貸)

8      (借)    (貸)

12      (借)    (貸)

### 3 売上原価対立法による記帳 (p.50)

- ・商品を仕入れたとき、                      勘定の借方に                      で記入する。
- ・商品を売り上げたとき、                      勘定の貸方に                      で    記入するとともに、  
     その                      を                      勘定から                      勘定（費用）に振り替える。





③商品有高帳

- ・ 商品の                      ごとに受入、払出および残高の明細を記録する帳簿で  
-----  
あり、単価・金額はすべて                      で記入する。  
-----
- ・ 仕入勘定・売上勘定・繰越商品勘定の                      （補助元帳）である。  
-----
- ・ 記帳は                      により行う。  
-----

【NOTE】

### 例題 5

商品有高帳

## 先入先出法

商品 A

(単位：円)

[illegible]

※商品有高帳の記帳のポイントは次の2点

- ① 商品の種類ごとに記帳する。      ② 単価・金額は原価で記入する。

### 例題 6

( 1 ) ¥

(2) ¥

(3)  $\nexists$

(4)  $\mathbb{Y}$

(5) ¥

### 第3節 掛け取引 (p.55)

#### 1 売掛金と売掛金元帳、買掛金と買掛金元帳 (p.55)

空欄に右記の語句から適語を選んで書きなさい

売掛金 買掛金 得意先 仕入先 人名勘定 売掛金元帳 買掛金元帳 合計 残高

・ 売掛金勘定だけでは、どの にいくら の があるかを知ること  
-----  
ができない。そのために得意先の商店名が勘定口座になっている補助簿を設ける。  
-----  
これが売掛金 ( ) 元帳である。  
-----

同じように

・ 買掛金勘定だけでは、どの にいくら の があるかを知ること  
-----  
ができない。そのために仕入先の商店名が勘定口座になっている補助簿を設ける。  
-----  
これが買掛金 ( ) 元帳である。  
-----

・ 商店名が付いている勘定科目を という。

・ 売掛金勘定（買掛金勘定）の残高は売掛金元帳（買掛金元帳）の各勘定残高の  
-----  
額と一致する。  
-----

【NOTE】

例題 1

※ p.58 解法のテクニックを参考に解いてみる。

〔仕訳〕 3/ 4 (借) (貸)

9 (借) (貸)

15 (借) (貸)

27 (借) (貸)

〔総勘定元帳〕

買 掛 金

	3/1 前月繰越

〔買掛金元帳〕

京 都 商 店

01 年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
3	1 前月繰越			貸	

奈良商店

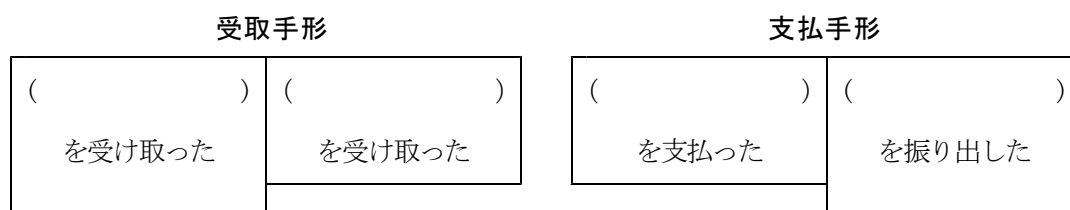
01 年		摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
3	1	前月繰越			貸	

【NOTE】

## 第4節 手形取引 (p.59)

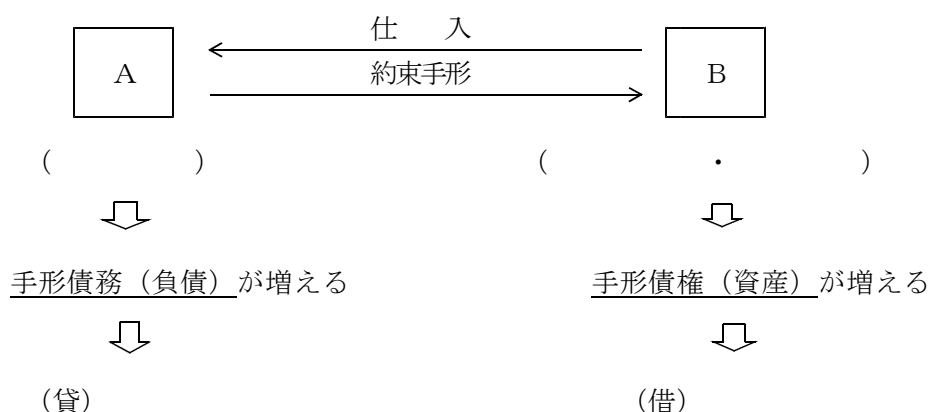
### 1 受取手形勘定と支払手形勘定

- ・ 商品を仕入れたり販売したりしたときの代金の決済手段として、現金や小切手の他に  
.....  
を用いることもある。
- ・ 約束手形を振り出すと、支払期日に手形に書かれている金額を支払う債務（これを  
.....  
という）が発生する。
- ・ 約束手形を受け取ると、支払期日に手形に書かれている金額を受け取る債権（これを  
.....  
という）が発生する。
- ・ 手形債権の増加・減少は                      勘定（                      の勘定）で処理し、手形債務  
.....  
の増加・減少は                      勘定（                      の勘定）で処理する。



### 2 約束手形 (p.59)

- ・ 約束手形は                      が                      (                      でもある) に「一定の期日に  
.....  
手形金額を支払うことを                      する証券」である。



## 仕 訳

- ・約束手形を受け取った。

(借)	××	(貸)	○ ○ ○	××
-----	----	-----	-------	----

- ・手形金額を受け取った。

(借) 現金など	××	(貸)		××
----------	----	-----	--	----

- ・約束手形を振り出した。

(借) ○ ○ ○	××	(貸)		××
-----------	----	-----	--	----

- ・手形金額を支払った

(借)	××	(貸)	現金など	××
-----	----	-----	------	----

### 例題 1

5/1	川越商事	(借)		(貸)
-----	------	-----	--	-----

〃	坂戸商店	(借)		(貸)
---	------	-----	--	-----

8/1	川越商事	(借)		(貸)
-----	------	-----	--	-----

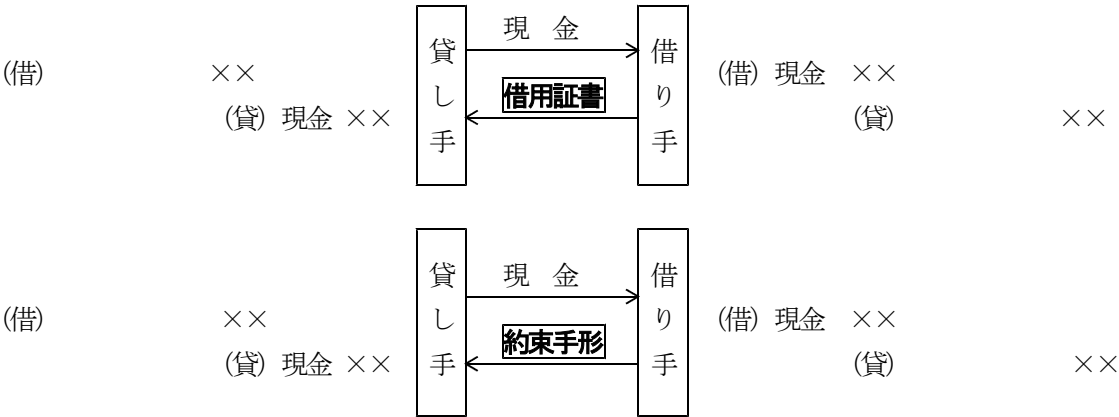
〃	坂戸商店	(借)		(貸)
---	------	-----	--	-----

### 【NOTE】

第5節 その他の債権・債務の取引 (p.61)

1 貸付金・借入金と手形貸付金・手形借入金 (p.61)

- ・ により金銭を貸し付けたとき、貸し手に生じる の増加・減少  
-----  
は 勘定（資産）で処理し、借り手に生じる の増加・減少は  
-----  
勘定（負債）で処理する。  
-----  
それに対して、  
-----
- ・ により金銭を貸し付けたとき、貸し手に生じる の増加・減少  
-----  
は 勘定（ の勘定）で処理し、借り手に生じる の増  
-----  
加・減少は 勘定（ の勘定）で処理する。  
-----
- ・ 貸付金のうち従業員に対するものは、 勘定（ の勘定）で処  
-----  
理する。  
-----





## 仕 訳

### 【借用証書による貸借】

・貸し付けた。

(借)	××	(貸)	現金 など	××
-----	----	-----	-------	----

・借り入れた。

(借)	現金 など	××	(貸)	××
-----	-------	----	-----	----

### 【約束手形による貸借】

・貸し付けた。

(借)	××	(貸)	現金 など	××
-----	----	-----	-------	----

・借り入れた。

(借)	現金 など	××	(貸)	××
-----	-------	----	-----	----

### 【利息の受払い（金銭の貸借時）】

・利息を差し引き残額を現金で渡した。

(借)	××	(貸)	現金	××
				××

・利息を差し引かれ残額を現金で受け取った。

(借)	現金	××	(貸)	××
		××		

### 例題 1

(1) (借)		(貸)	
---------	--	-----	--

(2) (借)		(貸)	
---------	--	-----	--

(3) (借)		(貸)	
---------	--	-----	--

(4) (借)		(貸)	
---------	--	-----	--

## 2 前払金・前受金 (p.63)

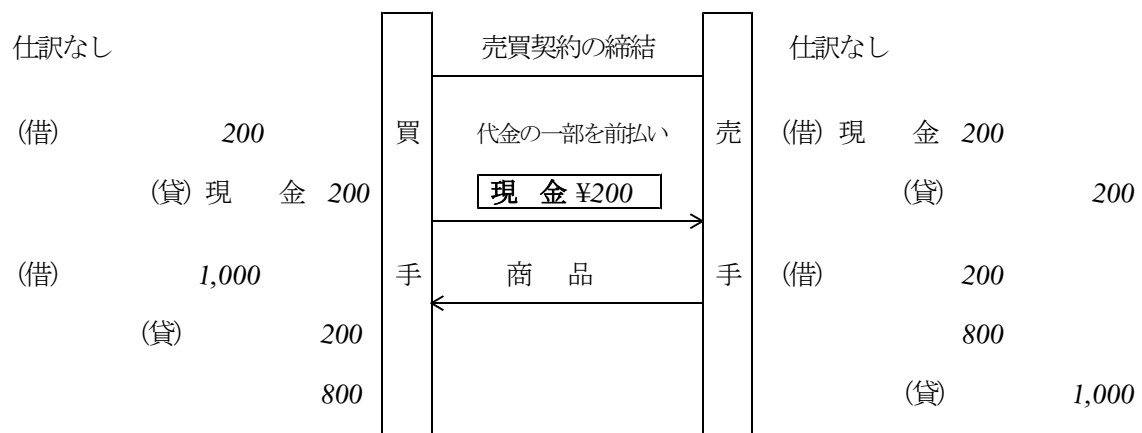
- 商品の仕入れにあたり、買手から売手に前払いされる代金を

### 買 手

- 内金を支払ったとき、支払側には後日商品を受け取ることができるなどの  
が生じる。この債権の増加・減少は 勘定（ の勘定）で処理する。
- 内金を支払ったとき前払金勘定の に記入し、商品を受け取ったとき  
に記入する。

### 売 手

- 内金を受け取ったとき、受取側には後日商品を引き渡すなどの  
が生じる。  
この債務の増加・減少は 勘定（ の勘定）で処理する。
- 内金を受け取ったとき前受金勘定の に記入し、商品を引き渡したとき  
に記入する。



## 仕 訳

### 【買手】

- ・商品代金の一部（または全部）を前払いした。

(借)	××	(貸) 現金など	××
-----	----	----------	----

- ・商品を受け取った。

(借)	××	(貸)	××
		○ ○ ○	××

### 【売手】

- ・商品代金の一部（または全部）を前受けした。

(借) 現金など	××	(貸)	××
----------	----	-----	----

- ・商品を受け取った。

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

- ・商品を発送した（引き渡した）。

(借)	××	(貸) 売上	××
	○ ○ ○	××	

## 例題 2

名古屋商事

6/15	(借)		(貸)
------	-----	--	-----

30	(借)		(貸)
----	-----	--	-----

岡崎商店

6/15	(借)		(貸)
------	-----	--	-----

30	(借)		(貸)
----	-----	--	-----

3

- |            |     |                                 |
|------------|-----|---------------------------------|
| る債権の増加・減少は | 勘定（ | の勘定）で処理する。                      |
| ・          |     | の物品を買い入れ、代金は後日支払うことにしたとき、買い主に生じ |
| る債務の増加・減少は | 勘定（ | の勘定）で処理する。                      |

【代金の受け払いが後日のときの処理…売掛金と未収金、買掛金と未払金はペアで覚える】

売却したもの	勘定科目	購入したもの	勘定科目
商 品	( 資産 )	商 品	( 負債 )
商品以外	( 資産 )	商品以外	( 負債 )

仕 訳

- ・商品以外のものを売却した（代金は後日受け取る）。  
 （借）                      ××    （貸）    ○   ○   ○       ××
- ・商品以外のものを買い入れた（代金は後日支払う）。  
 （借）    ○   ○   ○       ××    （貸）                      ××

### 例題 3

- (1) (借) (貸)

---

(2) (借) (貸)

**【NOTE】**

4

- ・ 一時的に金銭を立て替えて支払ったとき、支払側に生じる債権の増加・減少は
- 勘定（                      の勘定）で処理する。
- ・ 一時的に金銭を預かったとき、受取側に生じる債務の増加・減少は                      勘定
- （                      の勘定）で処理する。
- ・ 立替金や預り金のうち、従業員に対するものは                      勘定（                      の
- 勘定）、                      勘定（                      の勘定）で処理する。
- ・ 給料の支払いにさいし、従業員から預かる                      や                      は
- 勘定や                      勘定（いずれも                      の勘定）で
- 処理し、それらを税務署等に納付したとき、それぞれの勘定の                      に記入する。

**仕 訳**

- ・一時的に現金を立替払いした。

(借)                  ××      (貸) 現        金        ××

- ・給料を現金で支払った（ただし、所得税と社会保険料を差し引く）。

(借)                      ××        (貸)                      ××

×

現金 ××

- ・所得税を税務署に現金で納付した。

(借)                      ××    (貸) 現         金         ××

#### 例題 4

7/10 (借) (貸)

20 (借) (貸)

30 (借) (貸)

8/7 (借) (貸)

5

- 一時的に 勘定（ の勘定）の借方に記入する。
  - ・後日、勘定科目や金額が確定したとき、該当する勘定へ振り替える。
  - ・現金などの収入があったが、 や が確定していないときは、  
一時的に 勘定（ の勘定）の貸方に記入する。
  - ・後日、勘定科目や金額が確定したとき、該当する勘定へ振り替える。

## 仕 訳

- ・旅費の概算額を現金で支払った。

(借)	××	(貸)	現 金	××
-----	----	-----	-----	----

- ・旅費を精算し残額を現金で受け取った。

(借)	××	(貸)		××
-----	----	-----	--	----

××

- ・当座預金口座への入金があった。ただし、内容が不明。

(借)	当 座 預 金	××	(貸)		××
-----	---------	----	-----	--	----

- ・内容不明の入金は売掛金の回収であった。

(借)	××	(貸)	売 掛 金	××
-----	----	-----	-------	----

### 例題 5

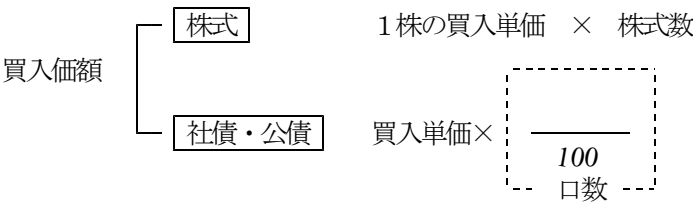
- |       |     |     |
|-------|-----|-----|
| (1)   | (借) | (貸) |
| <hr/> |     |     |
| (2)   | (借) | (貸) |
| <hr/> |     |     |
| (3)   | (借) | (貸) |

(借) (貸)

第6節 有価証券取引 (p.69)

□ 買い入れ (p.69)

- ・ 公債や                      、                      などの                      を取得したときは、  
-----  
で                      勘定 (                      の勘定) の借方に記入し、売却したときは貸方に記  
-----  
入する。  
-----
- ・ 取得原価は、有価証券の                      に証券会社に支払う                      などを  
-----  
加えたものである。  
-----



**仕 訳**

・ 有価証券を取得した。

(借)	××	(貸)	現金など	××
	↑			
	取得原価	=		+ 売買手数料など

例題 1

- |         |     |
|---------|-----|
| (1) (借) | (貸) |
| -----   |     |
| (2) (借) | (貸) |
| -----   |     |

【NOTE】

**2** 売 却 (p.71)

・有価証券を売却したときは、売却した有価証券の \_\_\_\_\_ を有価証券勘定の \_\_\_\_\_ に記入するとともに、売却による \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ の差額を \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) 又は \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) で処理する。

**仕 訳**

・有価証券を売却した。

【手取額＞帳簿価額】

(借) 現 金 な ど	××	(貸)	××	← 帳簿価額
	↑			
	手取額		××	

【手取額＜帳簿価額】

(借) 現 金 な ど	××	(貸)	××
	××		

**例題 2**

(1) (借) \_\_\_\_\_ (貸)

(2) (借) \_\_\_\_\_ (貸)

【NOTE】



## 第 7 節 有形固定資産取引 (p.72)

1 有形固定資産とは (p.72)

- ・有形固定資産とは、営業のために１年以上にわたって使用する資産のことである。
- 
- ・固定資産には                  ・                  ・                  などがある。

2 取得 (p.72)

- ・有形固定資産を取得したときは、有形固定資産を示すそれぞれの勘定の借方に  
-----  
で記入する。  
-----
- ・取得原価には  
-----  
に有形固定資産が使えるようになるまでに要した費用を  
-----  
加算する。

仕 訳

- ・有形固定資産（建物）を取得した。

$$\begin{array}{ccccc} \text{(借)} & & \times \times & \text{(貸)} & \text{当座預金など} & \times \times \\ & & \uparrow & & & \\ & & & & = \text{購入代価} + \text{付随費用} & \end{array}$$

### 例題 1

- (1) (借) (貸)
- 
- (2) (借) (貸)

**【NOTE】**

## 第8節 株式会社の税金 (p.73)

1 税金の種類 (p.73)

- ・株式会社が支払う税金には、次の3つがある。

①利益に課される税金 法人税・住民税・事業税

②費用として処理できる税金 ・ など

### ③消費税

2 会計処理 (p.73)

- ・固定資産税については を受け取ったとき、 勘定

(                      の勘定 ) の貸方に記入し、実際に納付したとき借方に記入する。

- ・収入印紙を購入したとき、勘定（ ）の勘定）の借方に記入する。

**仕 訳**

- ・固定資産税の納税通知書を受け取った。

(借)                      ××        (貸)                      ××

- ・固定資産税の第1期分を納付した。

(借)                      ××    (貸)    現金など                      ××

- ・収入印紙を購入した。

(借)                      ××    (貸) 現金など                      ××

### 例題 1

(1) ① (借) (貸)

② (借) (貸)

(2) (借) (貸)

3 消費税 (p.74)

- ・消費税の会計処理には( )と税込方式がある。
- ・商品を仕入れたとき、仕入れにともなう消費税額を( )勘定( )の勘定)の借方に記入する。
- ・商品を売り上げたとき、売上にとりなう消費税額を( )勘定( )の勘定)の貸方に記入する。

**仕 訳**

- ・商品を仕入れたとき。

(借) 仕 入      ××      (貸) ○ ○ ○      ××

                 ××

- ・商品を販売したとき。

(借)    ○   ○   ○      ××      (貸)   売      上    ××

××

### 例題 2

- (1) (借) (貸)

- (2) (借) (貸)

**【NOTE】**

第9節 株式会社の資本取引 (p.75)

1 株式会社の設立 (p.75)

- ・ 会社の設立にあたり、  
（ ）の勘定）で処理する。

仕 訳

- ・ 株式を発行した。

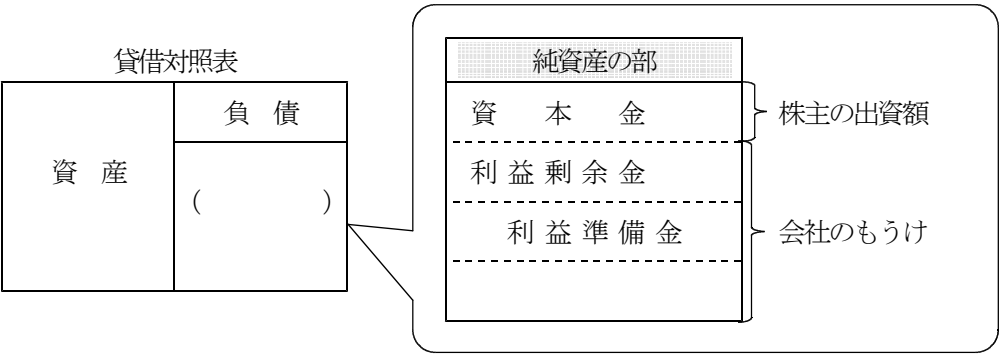
(借) 当座預金など      ××      (貸)      ××

例題 1

(借)      (貸)

2 株式会社の純資産 (p.76)

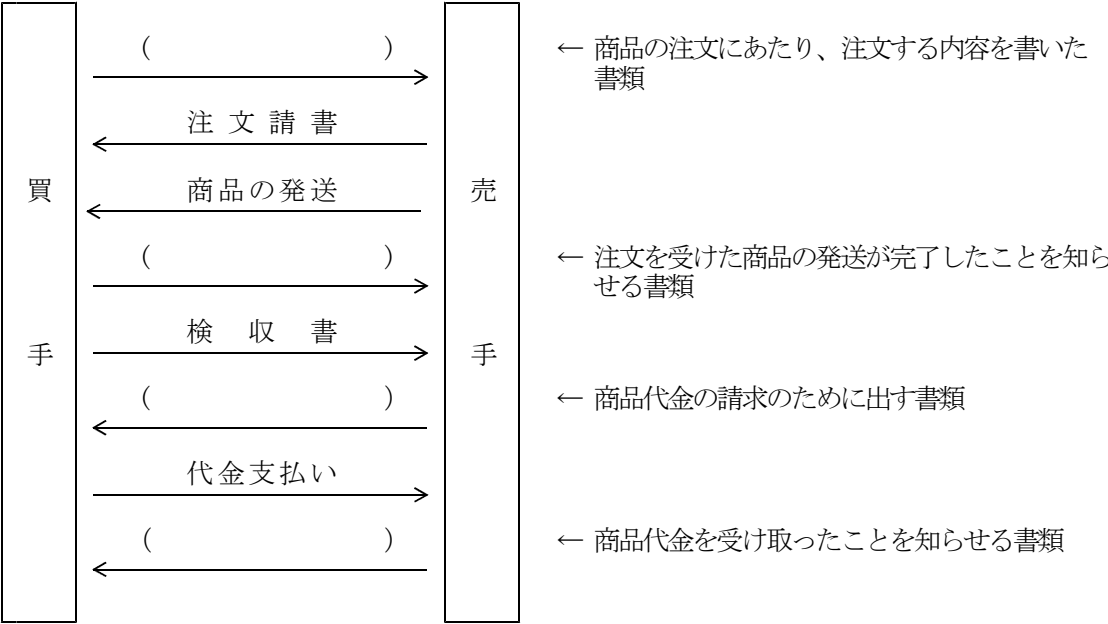
- ・ 資産から負債を差し引いた差額を      という。
- ・ 純資産は、株主の出資額である      と、会社のもうけである      からなる。
- ・ 利益剰余金は、会社法で積み立てることが強制されている      と、  
    からなる。



第 10 節 証ひょうと伝票 (p.76)

1 証ひょう (p.76)

- ・ 企業と取引先の間でやり取りされる証拠書類またはその控えを 。
- ・ 商品売買でやり取りされる主な証ひょう



例題 1

6/21 (借) (貸)

例題 2

10/9 (借) (貸)

## 2 伝 票 (p.79)

### (1) 伝票とは

- ・実務では仕訳帳に代わり伝票が広く利用されている。
- ・伝票は に代わるもので一定の形式が印刷されている紙片である。
- ・一般に 、 、 を用いる 3 伝票制が利用される。

### (2) 3 伝票制

- ・ 3 伝票制では、取引を、現金収支をとまなう と現金収支をとまなわない の 2 つに分けて起票する。

取 引	仕 訳	起票する伝票
入金取引	(借) ( ) × × (貸) □ □ □ × ×	
出金取引	(借) □ □ □ × × (貸) ( ) × ×	
振替取引	(借) □ □ □ × × (貸) □ □ □ × ×	

### ① 入金伝票

- ・科目欄に 、金額欄に入金額を記入する。

### 例題 3

取引の仕訳 9/30 (借) (貸)

入金伝票 No. _____		主任印		記帳印		係印	
01 年 月 日							
科目		入金先		殿			
摘 要		金 額					
合 計							

## ② 出金伝票

- ・科目欄に 、金額欄に出金額を記入する。

### 例題 4

取引の仕訳 9/9 (借) (貸)

<b>出金伝票</b> No. _____		01 年    月    日		主任 印	記帳 印	係 印
科目		出金先				
摘 要		金 額				
合 計						

## ③ 振替伝票

- ・取引を 形式で記入する。

### 例題 5

<b>振替伝票</b> No. _____		01 年    月    日		主任 印	記帳 印	係 印
勘定科目		勘定科目				
借 方		貸 方				
合 計		合 計				
摘 要						

【NOTE】